



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和7年10月29日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

ひまわり発表会 大成功！

24日に実施したひまわり発表会には、学習に関わっていただいた地域の招待者、学校運営協議会委員の皆様をはじめ、多くの保護者、地域の方にご参観いただきありがとうございました。8：30の開場前に家庭科室前には列ができており、9：00の開演前には体育館いっぱいにいらっしゃってびっくりするほどでした。ござやパイプいすが足りず、立って観ていただくことになってしまい、ご負担をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

手前みそではありますが、全ての発表がこどもたちの伝えたい思いがあふれたいいものであったのではないのでしょうか。これまでの学習の積み重ね、深く学んだこと、地域に出かけて感じたこと、多くの人にふれて考えたことなど、こどもたち一人ひとりがひまわり発表会に向けて準備をし、練習を重ね、当日に一番いい発表をするのだという思いで臨み、それを実行できたことが校長として何よりの喜びです。

22日のリハーサルでは、舞台袖の行儀が悪い学年には「表現としては◎だけど、作品としては最低です。」と伝えました。その日の内に担任が「本番では校長先生を見返してやろう。」とこどもたちに問いかけ、中には涙をしながら受け止めた子もいたそうで、その日の練習から見違えるほど変わったそうです。そういうことも聞いていたので、なおさら感慨深いものになりました。発表会后、地域の方からはたくさんのお褒めの言葉を言っていただき、とても誇らしい気持ちになりました。



前号でもお知らせしましたが、17日に開催されたしまね子ども絆づくりサミットに古江小学校を代表して4名のこどもたちが参加しました。自分たちの取組を発表し、他の学校の実践を聴き、小学生～高校生まで混じったグループで意見交換するという貴重な経験はこどもたちを大きく成長させてくれました。

事後アンケートでは4人全員がサミット前の自分とサミット後の自分とでは「変わった気がする」と答え、その理由を以下のとおり書いていました。

- ・人がいっぱいいる前で、堂々としゃべることができたし、グループで話し合いというのは学校ではあまりできなかったけど、このサミットで、グループで自分の思ったことも言えたから。
- ・やっている活動、やろうとしている活動を言葉にしてスピーチをして、今までは「前こういう活動をしているから今年もやる。」くらいにしか見てなかったけど、今は「この行動をすると他の学年との絆を深められる。」など深く理解することができたから。
- ・楽しみを入れて工夫をしていきたいと思ったし、生徒が主体的に行えるようにしていきたいと思ったから。
- ・人前に出て発表するのは自信なかったけど、今日人前で発表したら、みんなの前で発表するのに自信がついた！

人権集会では、当初の予定を変えて、しまね子ども絆サミットを通して、感じたこと、考えたことを中心に発表してもらい、学んだことを全校に発信してもらいます。



事例発表の様子です

登校途中のこどもたちとのやりとり。「この実は何?」「この花は何?」「畑に植えてあるこの野菜は?」と聞いていきます。

柿や栗、コスモス、白菜などはわかりますが、そのほかはなかなか正解がでません。「次に一緒に歩く時までには答えを見つけてね。」と言っても、そこまで興味を持ってくれることは少ないです。自分もそんなに詳しくはないのですが、せっかく豊かな自然に恵まれているので知ってほしいですね。

訓練メールの結果

27日に原子力防災訓練の一環として、本校ではこどもたちを対象とした避難訓練は既に実施していたため、保護者の方への引き渡しを想定した通報訓練を実施しました。

以下は開封結果です。(通知 9:28)

27日	10時	87人／267人(33%)
	11時	130人／267人(49%)
	12時	149人／267人(56%)
	13時	173人／267人(65%)
	14時	185人／267人(69%)
28日	12時	221人／267人(83%)

お仕事の関係ですぐにメールを見ることができない方もいらっしゃることは認識していますが、今回通報訓練を事前にお伝えしていたにもかかわらず24時間経過をした段階でも100%にならないことがわかりました。

要因の一つとして、タイトルと2文で内容がわかるのでクリックせずに未開封のままのことはないのでしょうか。メールのマークが閉じた状態のままにしないで、必ず開封していただきますようお願いいたします。